

# 勸進の伊勢は導く芸の道

## 師も奉演の阿佐ヶ谷の宮

令和五年正月七日

大中臣正比呂



明神（名神）とは、延喜式（法制）えんぎしきで定められた社格であるが、神様の尊称である。

その阿佐ヶ谷明神宮は、古事記にある倭建命やまとたけのみことが東征の帰途に立ち寄りられた由

緒とされる。東征の時代は景行天皇の頃で、西暦で同定不可の神話の時代である。

祭祀の地は桃園川の浅い谷、「浅ヶ谷」＝阿佐ヶ谷である。

社殿造営は伊勢神宮をこの地に分祀されており、伊勢神宮と同様式で、中央に

天照大御神、右に月読命、左に須佐之男命すさのおのみことが本殿に祀られている。

境内には、天孫降臨に際して道を啓いたとされる猿田彦命を祀る神社があるの

で、伊勢神宮をこの地に「勸進」かんじん（僧は意義を説き、諸人が寄付をすること）し、

道を啓いた神様の由来であろう。東京では最大級の伊勢神宮勸進神社である。

筆者は、伊勢外宮の佐瑠女神社（祭神、天鈿女命）あめのうすめのみことに三味線上達の祈願をしてい

るので、初詣は阿佐ヶ谷明神宮に昇殿し、御神札しんさつを頂いてきた。